

平成26年 一級建築士「設計製図の試験」の課題 温浴施設のある「道の駅」に対応

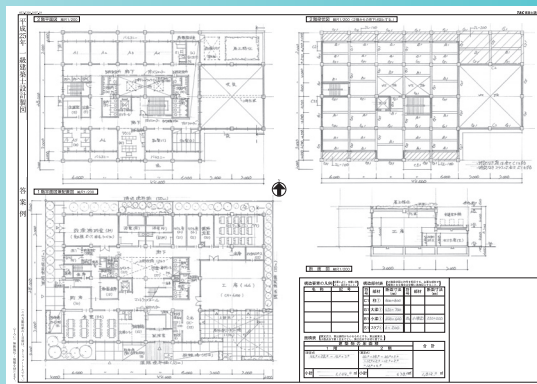
実際に講義で使用する「課題1」を公開!

「TACって、どんな課題を使用するの?」
ぜひ一度、ご覧ください。

さらに!

講座資料をご請求いただいた方全員に、

課題1【答案例Ⅰ】 **無料**
プレゼント!



参考：H25年 一級建築士設計製図本科生【答案例Ⅰ】

【お申込みの方法】

○ご希望講座の資料請求画面(右図)で

1. 建築士 一級を選択

2. ■特別請求記入欄に

▼講座 **設計製図**

▼案内書 **答案例1プレゼント**

と必ず入力してください。

! 入力いただけませんと、答案例をお届けできません。

「答案例Ⅰ」のお申し込みはこちら!
(TAC資料請求ページ)

受講生の方は、
マイページをご覧ください!

資料請求 無料で送付いたします! **TAC**

個人情報の取り扱いについて >>> **ご希望講座の選択** >>> お客様情報の入力 >>> 確認

※1回につき、2つまでとさせていただきます。
※公開模試などの総合案内以外の案内書をご希望の場合は、下記「特別請求記入欄」にご記入ください。

■ 総合 + 開く

宅地建物取引主任者 ☐ 宅地建物取引主任者

建築士 ☒ 建築士 ☐ 一級 ☐ 二級

マンション管理士・管理業務主任者 ☐ マンション管理士・管理業務主任者

マンション管理員検定 ☐ マンション管理員検定

■ 法律関係 + 開く

■ 国際関係 + 開く

■ 情報処理・パソコン関係 + 開く

■ **設計製図** + 開く

■ **特別請求記入欄**

▼講座 (例) 税理士 (全角15文字まで) ▼案内書 (例) 公開模試 (全角15文字まで)

※答案例1は、特別請求記入欄に「答案例1」とご入力ください。
※公開模試は、本試験の直前までにご請求ください。
※郵送申込でローンをご利用される方は「案内書」欄に「教育ローン」とご入力ください。

設計製図本科生

予約不要・参加無料

初回講義 無料体験入学できます!

初めて受験される方や、講義の雰囲気を経験したい方におすすめです。ぜひご参加ください!

ご持参
いただくもの

製図用具一式

※製図用具のお貸出しはしていません。

平行定規・建築士試験用テンプレート・三角スケール
勾配定規(二級のみ)・三角定規・字消板・筆記用具など

一級建築士 日程

※教室講座 講義時間:9:30~17:30(休憩1時間を含む。)

新宿校	渋谷校	八重洲校	横浜校	梅田校
8/17(日)	8/17(日)	8/16(土)	8/17(日)	8/17(日)

参加者特典!

¥10,000
入会金免除券
プレゼント

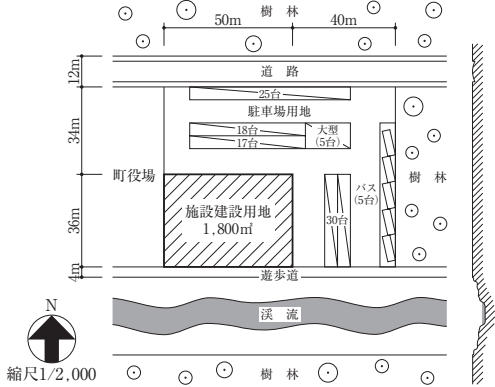
設計課題 温浴施設のある「道の駅」

I. 設計条件

この課題は、地方都市近郊の幹線道路沿いの渓流を望む景勝地に道の駅を計画するものである。本施設は、道路利用者の安全で快適なドライブを支える休憩施設であるとともに、地域の観光情報の提供及び地場特産品の展示販売を行い、地域のゲートウェイとして、人の交流及び地域の活性化を図る地域振興施設でもある。また、この施設には、温浴施設を併せ持つものとする。

1. 敷地及び周辺条件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。この敷地のうち本施設の建設用地は斜線で示した部分である。
- (2) 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。
- (3) 敷地は、都市計画区域及び準都市計画区域以外の区域内にあるが、景観保全のため建築物に関して次の制限がある。
 - ① 主要な屋根は、勾配屋根とする。
 - ② 建築物の高さの最高限度を13mとする。
- (4) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- (5) 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- (6) 渓流の氾濫、地下水及び積雪についての特別の配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- (1) 構造、階数等
構造種別は自由とし、地上2階建ての1棟の建築物とする。
- (2) 床面積の合計
床面積の合計は、1,700㎡以上、2,000㎡以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- (3) 要求室
下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
休憩部門	便所	・男性用、女性用として、洗面所を含み、各1室設ける。 ・各便所に、多機能型便所及びオストメイト用汚物流しを含み、便器16器を設ける。	適宜
	休憩室	・子供広場が見渡せる位置で、周囲の自然景観を取り入れ、明るく開放的な空間とする。 ・乳幼児用スペース、授乳室及びコインシャワー室を設ける。 ・テーブル、いす等を設ける。	
	売場	・歴史・文化の資料展示コーナー、特産品の展示・販売コーナーを設ける。	約250㎡
地域振興部門	レストラン	・60人程度が利用できるようにする。 ・外部からも直接アプローチできるようにする。 ・厨房、客用及び従業員用便所を設ける。 ・テーブル、いす等を設ける。 ・明るく開放的な空間とし、眺望に配慮する。	適宜
	浴室	・男性用、女性用として、それぞれ15人程度が入浴できるものとし、各浴室に脱衣室を設ける。 ・眺望に配慮する。 ・各浴室に、洗面台及び便所を設ける。	
	体験コーナー	・伝統工芸品の展示・実演・体験工房に利用する。	約40㎡
	和室	・20畳とし、押入れを設ける。	適宜
	研修室	・10人程度の会議、セミナー等に利用できるようにする。	
	談話スペース	・10人程度が利用できるようにする。 ・ソファ等々を設ける。	
共用・管理部門	エントランスホール	・1階と2階の空間の連続性を考慮した吹抜けを計画する。 ・パソコンを5台設け、インターネットで道路交通情報、観光情報等の検索ができるものとする。 ・電話コーナー、自動販売機コーナーを設ける。 ・風除室を設ける。	適宜
	管理事務室	・2人分の事務スペースを設ける。 ・案内窓口を設け、観光案内及び浴室の入場チケット販売を行う。	
	特産品加工所	・特産品の調理・加工を行うものとする。 ・売り場に隣接して設ける。	約40㎡
	荷解室		適宜
	商品倉庫		約30㎡
	備蓄倉庫	・食料、飲料水、生活必需品、医薬品を備蓄する。	約30㎡
	従業員更衣・休憩室	・男性用、女性用として各1室設ける。	適宜
	設備スペース	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。	
	・便所及び倉庫については、適切に計画する。 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。		

3. その他の施設等

- (1) 子供広場を、次のとおり計画する。
 - ① 地上に設けるものとし、まとまったスペース(直径7m以上の円が1つ入るスペースとする。)で100㎡(ピロティ、上部に屋根等がある部分を除く。)を確保する。
 - ② 休憩室及び遊歩道との動線に配慮する。
 - ③ ベンチ、ブランコ、鉄棒、砂場、足洗い場等を設ける。
- (2) 展望テラスを、次のとおり計画する。
 - ① 1階の屋上に設けるものとし、渓流を望める位置とする。
 - ② まとまったスペースで80㎡(ピロティ、上部に屋根等がある部分を含めてもよい。)を確保する。
- (3) 露天風呂を、次のとおり計画する。
 - ① 地上又は1階の屋上に設けるものとし、まとまったスペースで50㎡(ピロティ、上部に屋根等がある部分を含めてもよい。)を確保する。
 - ② 浴室から利用できるようにする。
- (4) 駐車場は、地上に平面駐車とし、車いす使用者用として1台分、サービス用として1台分、自動二輪車用として5台分を設ける。なお、施設利用者及び職員用の駐車場は、一般の駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- (5) (1)～(4)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- (1) 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 建築物はバリアフリー、セキュリティ等に配慮する。
 - ② 休憩部門、地域振興部門及び共用・管理部門を適切にゾーニングし、明快な動線計画とするとともに、避難等に配慮する。
 - ③ 勾配屋根の形状を活かした室内空間となるように計画する。
 - ④ 敷地の周辺環境に配慮する。
- (2) 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
 - ② 構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
 - ③ 耐震性に配慮し、必要に応じて、耐力壁等を設ける。
 - ④ 部材の断面寸法を適切に計画する。
- (3) 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。
 - ② 自然採光及び自然通風を積極的に取り入れる計画とするとともに、日射の遮蔽にも配慮する。
 - ③ 地震等の災害時においても、一定の機能を維持できるように配慮する。
 - ④ エレベーターを適切に設ける。

II. 要求図書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図 兼配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等 ハ. 要求室の床面積(エントランスホールを除く。 ニ. 採用した構造種別、架構形式及びスパン割りに応じて必要となる構造要素(必要により、凡例の空欄に名称・記号を記入し、図示する。) ホ. 設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 ヘ. 設備計画に応じた設備スペース ト. 断面図の切断位置 チ. 子供広場、展望テラス、露天風呂 リ. 要求室の特記事項に記載されている什器等 ② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 駐車場(台数を明示する。) ハ. 通路、植栽等 ③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から直通階段の一に至る歩行距離及び経路 ロ. 1階の屋根、ひさし等となる部分
(3) 断面図 1/200	① 切断位置は、エントランスホールを含み、建築物の全体の立体構成及び勾配屋根の形状がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ③ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。
(4) 2階梁伏図 1/200	① 2階からの見下け図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号・部材・断面寸法を追加記入する。

2. 面積表(答案用紙Ⅰに記入)

地上1、2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- (1) 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① 異なる利用時間帯の施設のゾーニング及び動線計画において工夫したこと
 - ② バリアフリーについて工夫したこと
 - ③ 勾配屋根の形状を活かした室内空間とするために工夫したこと
- (2) 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
 - ② 勾配屋根の構造計画について工夫したこと
- (3) 設備計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① 売場、エントランスホール及びレストランに採用した空調方式と採用した理由
 - ② 地震等の災害に対する設備計画について、「停電」及び「断水」時の対応策を記述すること(停電や断水は3日程度を想定する。)
 - ③ 受変電設備、空調室外機及び浴室用の給湯・ろ過設備の設置位置について工夫したこと